

かながわ人生100歳時代ネットワーク

「この指とまれプロジェクト」

終活の不安をなくし
今を元気に生きる人を増やしたい

「合同会社ZENPAN」

① 団体概要

神奈川県逗子市で仏具店兼終活支援拠点「佛縁堂あみりと」の運営と「湘南海洋葬」という名称で海洋散骨事業を行っています。

店舗で個別相談会のほか、神奈川県行政書士会鎌倉支部さんの勉強会、終活カウンセラーさんの講演なども実施してきました。

ご供養と終活の専門店として、主に湘南・三浦半島エリアの皆様から様々なご相談を受けています。

- 本社 神奈川県逗子市逗子5-4-35,2F
- 会社設立 2023年7月19日
- 従業員数 3名
- 事業内容 仏具店・海洋散骨事業の運営、終活イベントの企画運営等

団体紹介



②事業概要

- 概要

地域に根ざした**専門家の力を結集し、**
地域住民に対して**終活にまつわる情報提供**を行う団体
「かながわ終活情報館」（仮称）を設立

ホームページへの記事掲載や
相談会、講演会を通じて広く情報提供を行いたい

③背景

情報の非対称性

- ✓ 終活に関する大小様々なご相談を年間100件ほど受けている中で「情報の非対称性」を痛感
- ✓ 終活に関しては誰もが初心者であり、関連業界を生業にしていない限り「何も知らない素人」

情報収集の難しさ

- ✓ 幅広い分野を横断するためテレビやインターネットで調べても断片的な答えしか得られない

「終活という言葉は知っているけど、実際には何をすれば良いかわからない」という状態で踏みとどまっている方が大半を占めているという印象。

私自身、仏壇仏具や海洋散骨、葬儀やお墓については説明できるがそれ以外は門外漢で歯がゆい思いを経験。

③背景

知識より**経験談**

- ✓ そもそも終活と表現される物事は、友人や家族にも話しづらい事柄
- ✓ インターネットやAIに聞いて得られるのは表面的な情報だけ
(例：「墓じまい 費用」と検索すると30~200万円)
- ✓ 皆さんが知りたいのは「自分の場合はいくらなのか」
- ✓ ただ、これを知るには専門家に相談する必要がある...
- ✓ 「まだ先のことだし」と保留に



この状態を打破するきっかけになるのが「**誰かの経験談**」

④事業の期待する効果

「あそこのお寺の住職は気難しい」「家族葬をする際の注意点」
「ペットがいる私がした終活」「長男長女の私たち夫婦がした墓じまい」
「葬儀で後悔したこと」「海洋散骨を選ぶ際の注意点」etc...

自分事として後押しできる情報 = 地域性や自分の境遇に似た個別具体的な話

…こうした経験談を集め、伝えることで
終活に前向きに取り組む人が増えひいては地域活性化へ繋がる

「神奈川モデル」

④対応するSDGsのゴール



⑤連携を期待するリソース

分野を問わず、終活にまつわる知識や経験、エピソードなどの共有

具体的に...

- 団体ホームページでの記事作成や講演会や相談会での講師など
- その時々々の世論に合わせた記事や講演会のテーマ提案

⑥事業のスケジュール

8月27日（木） 団体紹介、この指プロジェクト発表

9月5日（金） 14時～ 個別意見交換会の開催

10月～ HPでの情報発信、講演会の実施

⑦ネットワーク団体へのメッセージ

「もっと早く知っていればよかった」「そんな方法があったなんて」これまで私が何度も聞いてきた言葉です。終活はお金や家族が関わってくるプライベートなものであり、人に聞きづらいものです。これまでは親やお節介な親戚のおじさん・おばさんが経験に基づいて教えてくれましたが、今はインターネットを頼るしかありません。しかし、選択肢が多すぎる上に自分の状況に照らし合わせた提案をもらえるわけではありません。迷ってしまうのは至極当然といえます。

こうした状況を変えられる、メディアのような情報発信団体を目指しています。ホームページで記事を書いたり、講演会等で講師として登壇していただける方を募集しています。